

# SRID NEWSLETTR

No.306 MAY 2001 国際開発研究者協会 創設者大来佐武郎  
〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-17 千代田会館 5 階 FASID 内

## ワルテル、ワルネット、ワリンテル —インドネシアにおける IT 革命の主役—

嘉悦大学経営経済学部教授 尾村敬二

インドネシアについての最近のニュースは暗い。国会におけるワヒド大統領弾劾の 2 回目の覚書が出され、大統領のこれに対する対応しただけでは 8 月に更迭の可能性もある。幸いに覚書が出された 4 月 30 日には、予想されていた大規模な流血事件も起こらず、ジャカルタからシンガポールやバリ島に避難していた富裕層も安堵したようである。しかし 3 月以来下落を続けている為替相場と株式市場は一向に改善の兆候を見せず、インドネシア経済の先行きは暗い。こうした経済悪化の中で、活況を示しているのが、IT 関連事業のワルテル、ワルネットおよびワリンテルである。

ワルテルとは電話普及状況の悪いインドネシアにおいて、庶民が国内長距離電話を利用するための通信手段である。すなわち地域の篤志家が小規模電話センターを運営し、庶民が郷里の親族と連絡を取るためのサービスを提供するものである。料金は公定料金よりも高いが、電話を保有するほどの経済力がないものには不可欠な通信手段である。親族の安否や出稼ぎ送金の連絡は、経済混乱によってまったく信頼できなくなっている郵便に頼ることはできない。

ワルネットは 1990 年代後半に流行りだしたインターネット通信のサービスセンターである。最初は数台のパソコンを置いて、パソコンを買えないインテリ層の利用に供してきた。最近の利用料金は 1 時間あたり 25～35 円程度であり、庶民の IT 普及の原動力となっている。3 月のジャカルタ出張の際にワルネットを覗いてみたが、教師風の若者や高校生などを顧客にして結構繁盛しているようであった。高校生風の若者はインターネット情報検索やメール交換をするというよりも、チャットやゲームを楽しんでいるようであり、ワルネットは一種のインターネットカフェあるいはゲームセンター化しているようである。

ワリンテルはワルテルおよびワルネットを統合したものであり、最近では庶民の情報通信手段として目覚しく発展している。庶民の情報に対する欲求はすでに国境を超えており、英語を解する人は世界の情報を同時的に入手でき、その情報が口コミを通じて一般社会へ伝播される。ワヒド大統領引き摺り下ろしのための醜い政治抗争のニュースも外国通信によって正確さが補強されているようである。1998 年 5 月のスハルト大統領失脚に際して、学生組織間のインターネット情報網の活用は非常に有用であったことは周知されている。

ワルネットやワリンテルの発展は、アセアンの中でも立ち遅れているインドネシアの IT 革命推進の軸として、政府も重視している。E-デモクラシー、E-教育、E-コマース、E-ガバメントなどの国家的開発目標に国民レベルの参加が重視されているからである。現在は国家財政が破綻状況にあるために、民間ベース、庶民ベースの IT 革命はおおいに歓迎されている。しかしワルネットやワリンテルが飛躍的に発展するためには障害も多い。

障害の第1は、1万3000の島からなる広大な領土をつなぐネット網のためのインフラが未整備であること。とくに、外島の偏角地では電話さえない農村もある。第2は、パソコンを買える層は人口の数パーセントに過ぎないことである。庶民にとってはパソコンを買って電話に加入することは非常に難しい状況である。パソコンの中古市場などは依然として成立していない。ましてや、どこかの元首相が言ったようなIモード利用など10年以上先のことである。第3に、デジタルディバイドが拡大するばかりである。ワヒド大統領も、インドネシアではアラビア語やオランダ語が使えるので、英語など必要ないと自嘲する始末である。インドネシア語のソフト開発が進んでおらず、たとえパソコンを買っても十分にそれを活用できない人が多数である。第4に、OS その他のソフトウェアの価格が高すぎることである。ハードが買えてもソフトは買えない状況では、知的所有権の侵害は当たり前になる。インドネシアで使用されているソフトの9割以上が海賊版や違法コピーであり、ウイルス被害の危険度も高い。

そのほかの障害を上げればきりがないであろう。解決のためには IT 革命のための資金と人材が必要である。昨年の沖縄サミットでわが国もアジアの IT 開発に資金援助を約束しているが、インドネシアにこの援助が依然として降りていないようである。現在のインドネシア政府のガバナンスに問題があり、要請するべき援助プロジェクトが策定できない状況にあり、たとえ援助プロジェクトがコミットされてもその実施能力に疑問が生じている。また、わが国の援助方針も、従来型の大型のハードウェアプロジェクト志向があり、インドネシアの開発能力とマッチしていないようである。インドネシアの IT 革命においてワルネットなどの中小企業が主役になれるとするならば、これに対する支援を具体的に検討する必要があるだろう。

## ニューミレニアムを迎えて

国際協力銀行 荒川博人

21世紀を迎えた2001年は単に2000年の次ぎの年ということも出来ますが、やはり経済社会のフレームワークの大きな変革と位置づけるべきでしょう。就中日本はまさにその変革が始まったところで、これからが正念場でしょう。キーワードは自己責任、ネットワーキング、グローバリゼーション、迅速性、不確実性、というところでしょうか。この変革の担い手は大きく多様化しており、深い専門性が要求されます。

ということは、まさにSRIDの時代ではないでしょうか。年齢別、職種別、バックグラウンド別、エキスパティーズ別、地域別どの面をとっても、SRIDは自立した個をベースとし、目の届く範囲で（インターネットを含む）ネットワークを形成しています〔理論的には〕。国際開発においても、開発援助機関のみではなく、NGO、市民団体、学者、学

生、企業なども生き生きと活躍しています。

小生も25年ほど開発援助に携ってきましたが、今ほど連携の重要性を認識したことはありません。例えば日本の地方自治体や市民団体の持つ環境面などのエキスパティズは開発にとっても貴重な資産です。しかし、これを充分認知し、活用しているとは言えません。SRIDの今年の活動もSRIDのコアコンピテンタンスを再認識し、上記キーワードを念頭に、メンバーの主体的な提案、連携がうまくゆくように心掛けたいと思います。幹事会にぜひいろいろな提案などをお寄せ下さい。

## 総会報告

4月20日、SRIDの年次総会が開催されました。出席者は、浅沼会長をはじめ、正会員26名、学生会員6名でした。

神田代表幹事から総括した昨年度の活動報告・会計報告がありました。ニューズレターのメール化で発送経費が削減できた点が特徴的でした。

その後、2001年度の新幹事選出が行われ、荒川さんが代表幹事に就任されました。新しい幹事メンバーは総会資料をご覧下さい。新年度の活動計画・予算案についても簡潔な説明と質疑で承認されました。荒川さんは海外会員、地方会員の重視、新規会員の獲得などを重視したいとの方針で、柔軟なSRIDの運営を方針とされました。某県の知事ならば「しなやかなSRID」という表現になると思います。

SRIDアソシエイツ、学生部会の説明も簡明にされました。特に学生部からは勉強会への協力を要請されましたので、重ねて皆様のご協力をよろしくお願いします。

総会議事そのものは簡潔にし、総会に出席された会員の方々からの発言時間を多くしたいという当初の目標は達成されたかに見えました。しかし、それでも総会議事に時間を取り過ぎとのご批判もあり、議事に時間がかかる点は少し残念でした。

会員の方々からの自由な発言では、近況報告が中心でしたが、夏のシンポジュームのテーマについて、IT革命のその後についてフォローすべきという意見の方が3名いらっしゃいました。特にテーマについて集中した議論が出来た訳でもなく、今後の検討課題となりました。

個人的感想で恐縮ですが、SRIDとは国際開発に関する研究者の協会ということで、会則第3条にもあるように「本協会は、国際開発問題に携わり、あるいは、その研究に情熱を傾けている者が、国内および海外において人的連携を保つことにより、相互の親睦を図り、互いに専門家として国際的に創造力あふれた活動をするために、励まし、協力し、啓発し合うことを目的とする」会であるのに、専門家として研ぎ究めるのではなく、経験談や評論的な発言もあり、SRIDとしての「研究」というキーワードについて改めて考えさせられる総会でもあったような気がします。（池田記）

## お知らせ

1. 新入会員 中込 昭弘さん

監査法人 太田昭和センチュリー

吉野 順治さん

監査法人 太田昭和センチュリー

2. 休会 青沼 浄さん、大野 祐司さん、山口 真一さん、 山田 喜代信さん

3. 会員異動

小林 一さん 地域振興整備公団 浜北都市開発事務所長 [kobayashi-h@region.go.jp](mailto:kobayashi-h@region.go.jp)

河野 善彦さん 国際協力銀行 理事

幸田 成善さん ユニコ・インターナショナル株式会社 プロジェクト第一部

事務所移転 ユニコ・インターナショナル株式会社

〒104-0045 中央区築地 3-5-4 中川築地ビル 5 F

TEL 03-5418-0600 FAX 03-5418-0377

石井 暢夫さん JICA Caribbean Community Secretariat